

種子屋久通信

《 令和5年度「熊毛地域青少年育成推進協議会」総会開催 》

7月11日（火）、令和5年度熊毛地域青少年育成推進協議会総会が西之表市役所3階第3委員会室において開催し、関係機関・団体等の代表者や青少年育成コーディネーター等21名（うちオンライン5名）が出席しました。

議事では、令和4年度活動報告及び令和5年度活動方針について、事務局より説明・提案を行い、原案のとおり承認されました。

活動報告では「家庭の日」作品コンクールの結果やかごしま地域塾への活動支援助成の実施状況、広報紙発行状況、青少年保護育成条例に基づく立入調査の実施状況等の説明を行いました。

また、本年度は役員改選の年にあたり、当協議会会長に寺田 辰男氏（熊毛地区民生委員児童委員協議会会長）、副会長に田淵川 寿広氏（中種子町青少年健全育成全体協議会会長）、荒木 耕治氏（屋久島町青少年育成町民会議会長）、籠原 剛氏（熊毛支庁長）が選任されました。

続いて「各市町の担当者に令和4年度活動報告及び令和5年度活動方針」について説明いただき、次に各団体の青少年に係る日頃の取組状況等を紹介していただきました。今年度は各市町、通常どおりの計画になっていますので、その地域の色を出した活発な活動が展開されることを期待しています。



《 令和5年度「熊毛地域青少年環境づくり懇談会」開催 》



池亀 麗哉氏 講話

皆、真剣

標記の懇談会を「熊毛地域青少年育成推進協議会」総会に引き続き開催しました。懇談会には、関係業界、学校、警察、地域関係機関・団体等の代表者26名（うちオンライン6名）が参加されました。

管内の少年非行の概況について、種子島警察署生活安全課・屋久島警察署生活安全刑事課の2名の方に説明いただいた後、「地域ぐるみの学校安全体制」と題して、鹿児島県教育庁保健体育課指導主事 池亀 麗哉氏にお話しいただきました。最後に、地域の青少年を健全に育成するための環境づくりに関する問題等について、情報共有・意見交換を行いました。



令和5年度 「鹿児島県青少年育成県民会議」総会

6月8日（木）、令和5年度鹿児島県青少年育成県民会議総会が県青少年会館で開催されました。原之園副会長の挨拶の後、青少年育成県民会議表彰が行われ、青少年育成指導者の部5名、青少年団体・グループの部2団体、青少年育成団体の部2団体が受賞されました。熊毛地区からは青少年団体・グループの部で、日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団（南種子町）が表彰されました。

議事では、令和4年度の事業報告をはじめ、令和5年度の事業計画、新役員体制など計5議案が審議され、事務局の提案どおり承認されました。



西野 将太氏 講演

最後に、西野 将太氏（かごしまきょうだいの会代表、言語聴覚士）による「ヤングケアラーきょうだいを知る～きょうだいのホンネ～」と題して講演がありました。家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必要であっても表面化しにくい構造であるため、多機関・専門職の連携による発見・把握・支援が重要であることなどを話されました。

受賞おめでとうございます

【青少年団体・グループの部】 ☆日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団 (南種子町)

【活動の主な内容】

宇宙・科学への探究心を育む郷土学習や農業体験、全国の子どもたちとの交流等を

通して、次世代を担う健全な青少年を育成するために設立され、町内の小学生から高校生までの異年齢で構成されている。

科学実験や宇宙・ロケット学習、凧づくり・たこあげ大会、農業体験、交流活動等に取り組むほか、スプリング・サマー・ウインター・宇宙のまちキャンプや5年に1回、記念式典と合わせた韓国キャンプを実施している。

南種子町の子どもたちが幅広い交友関係を築きながら、地域愛を持ち、ふるさとの活性化に寄与できる人材育成の場としても、重要な役割を果たしている。

長年にわたる取組により、青少年育成に対する意識の高揚や地域の子供たちの健全育成に尽力している。



7月27日（木）に開催された種子島コスミックスクール～生輝く。感動！ 活動の一部を紹介



【南種子町自然の家】
公開講座の様子
「たねがしまのお話し」

【南種子町宇宙センター】記念撮影（約70名）



【鉄砲館】
火縄銃について説明
を聞いている様子



※昨年参加した中学生が高校生になり、今年も参加してくれました。今年リーダーとして大活躍。よい関係性で活動ができています。



青少年育成活動の紹介

【中種子町の取組】

(燃ゆる感動かごしま国体デモンストレーションスポーツ：ウォーキング)

「種子島縦断！親子ふれあいウォーク2023」

「種子島縦断！親子ふれあいウォーク2023」が5月27日・28日に開催されました。1日目の27日はかごしま国体デモンストレーションスポーツのウォーキングとして行われ、2日間で51.8kmの道のりを踏破しました。

1日目は、天候に恵まれ歩きやすい気候の中、西之表港から種子島中央体育館までのコースを歩きました。2日目は、雨が少々降る中、種子島中央体育館から宇宙センターへ向けてスタートし、大きく天候も崩れることなく青年団のお兄さんたちと一緒にゴールしました。



【中種子町の取組】「ベニーハウスで子どもたちの交流（親子食堂にタネガシマンも登場）」



6月10日に、増田区民センター（ベニーハウス）で学童保育の子どもたちと、スマイルキッズの子どもたちが交流を行い、自己紹介やNPO法人えんが運営する親子食堂で、食卓を囲むなどして、親睦を深めました。

また、離島閃隊タネガシマンのヒーローショーもあり、親子食堂の乗っ取りを企むジャアスロウ帝国の魔の手から会場を守るヒーローの姿に、子どもたちから声援が送られ、盛り上がりました。

【南種子町の取組】西海地区公民館青少年育成部6月活動「磯研修」

6月17日（土）に、海遊びを通じて海の楽しさと危険性を学ぶ磯研修を行いました。

子ども21名、保護者20名が参加し、伝統の網打ち漁や釣りの体験、屋久島を眺めながらの遊覧航海など、盛りだくさんの内容を目いっぱい楽しみました。

磯研修は、西海地区で約40年続いている行事で、地域の方々との交流の場として、また海の豊かさや力強さを感じられる場として、子どもたちの貴重な体験活動の1つとなっています。



青少年育成活動の紹介

【屋久島町の取組】子ども劇場開催

6月19日（月）、20日（火）に尾之間保健センター、宮之浦公民館で子ども劇場を開催しました。IFYプロジェクトによる『ンビリの王子、旅にでる』という音楽劇です。「ン」がつく言葉は何でも「ン」から始めるというユニークな設定で、ライオンの王子や八百屋のゾウ、中華料理店のパンダなど、たくさんの動物による歌と楽器の演奏に園児たちは喜んでいました。

今回は4年ぶりとなる夜の部の公演もあり、小学生や保護者の方々も楽しんでいました。



【西之表市】地域塾：ふるさとまなび～隊「仲間をつくってゲームをしよう！」

6月3日（土）に令和5年度第1回「ふるさとまなび～隊」活動を実施しました。

今回は「仲間をつくってゲームをしよう！」と題して、市内児童30名が、じゃんけんゲームや整列ゲーム、風船ゲームなどの様々な活動を楽しんで行いました。



整列ゲームでは、“起きた時間の早い順”や“名前の五十音順”など、チームごとに協力して競い合う姿も見られました。また、各ペアで背中合わせに座った状態から立ち上がるといった協力ゲームの際には、苦戦しながらも立ち上がることができ喜ぶ児童の姿も見られ、充実した活動となりました。

【西之表市の取組】第31回われは海の子黒潮の子浦田遠泳大会



7月21日（金）に、浦田海水浴場で第31回われは海の子黒潮の子浦田遠泳大会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、日頃の練習成果を発揮していました。ゴール地点では、泳ぎ切った記念のメダルを首に掛けてもらい、各学校それぞれのスタイルで記念撮影していました。



令和5年度夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」

令和5年7月1日(土)～8月31日(木)

【運動の進め方】

青少年育成は家庭が基本であるという認識のもとに、鹿児島県の教育的伝統と風土を生かしながら、学校、職場、地域、関係機関・団体等は、それぞれの実情に応じた取組を、独自に、又は相互に連携して実施する。特に、この期間は、児童生徒の夏休み期間を含み、生活のリズムの乱れ等により非行や不登校につながることも懸念されることから、より関係機関・団体と連携を図り、基本的な生活習慣の定着、非行や事故（水難・交通）の防止及び令和5年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に関する取組についても重点的に推進する。

家庭 ➡ 「早寝早起き朝ごはん」国民運動の実践など、基本的な生活習慣の育成に努めるとともに、「家庭の日」（毎月第3日曜日）、「育児の日」（毎月19日）を中心に、家庭での語り合いや、親子の触れ合いを実践する。

学校 ➡ 学校を中心に、家庭、地域、関係機関・団体等と連携し、ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子どもの犯罪被害等の防止への取組や地域活動への参加を推進するとともに、生徒指導・安全指導の充実に努める。

職場 ➡ 「ワークライフバランス」を推奨し、勤労青少年に働く喜びを与える職場づくりに努めるとともに、「家庭の日」、「育児の日」の子どもへの関わりや「青少年育成の日」（毎月第3土曜日）等に行われる青少年育成活動への参加を奨励・支援する。

地域 ➡ 「青少年育成の日」を中心に、かごしま地域塾や子ども会活動など地域の特色を生かした青少年育成活動を支援・実施する。

子どもは、社会を映す鏡。

そんな考え方に立ってみると、

私たち大人から、

先になければならないことが

たくさんあります。

まず、大人自身が変わること。

そして、

子どもたちを温かく見守り、

支えてあげること。

さあ、はじめましょう。



令和5年度「家庭の日」絵画・ポスター・標語作品募集

子どもが心身ともに健全に成長するためには、明るく円満な家庭が何よりも必要です。

心豊かな青少年を育てるために明るく円満な家庭づくりが実践されることを願い、毎月第3日曜日に設定された「家庭の日」の普及・啓発活動の一環として、絵画・ポスター及び標語を県内の小・中学生から募集します。

【 応募資格 】

- (1) 県内の小学校、義務教育学校(小学校に準じる学年)及び特別支援学校小学部の児童
※ ただし、ポスター作品の応募は、5・6年生に限る。
- (2) 県内の中学校、義務教育学校(中学校に準じる学年)及び特別支援学校中学部の生徒



令和4年度「絵画の部」

優秀賞 中種子町立野間小学校4年
長谷部 和奏 (はせべ わかな)

【 応募作品の提出先及び提出期限 】

- (1) 市町村立小・中学校・義務教育学校
 - ア 各小・中学校・義務教育学校から市町村教育委員会へ
 - イ 市町村教育委員会から教育事務所へ
 - ウ 教育事務所から県民会議へ
- (2) 県立学校
 - ア 県立中学校から県民会議へ
 - イ 県立特別支援学校から県民会議へ

9月 7日(木)まで

9月14日(木)まで

9月20日(水)まで

9月 7日(木)まで

9月 7日(木)まで



【 応募内容 】

区 分	【絵画の部】	【ポスターの部】	【標語の部】
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・一家団らんの様子 ・家事を手伝っている様子 ・地域ぐるみで、明るい家庭づくりを実践している様子 	※ 例えば次のような言葉を入れる ・「家庭の日」 ・「我が家の家庭の日」 ・「楽しいうちの家庭」	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、楽しい様子を表現したもの ・親子の協力やふれあいを表現したもの
画用紙	「八つ切り」 (271×392 ミリ) ※令和3年度から変更しました。		別紙様式3にボールペン等で記入
画 材	クレヨン、水彩、パステル等自由		

自分だけで悩まず、まずは相談してみませんか？

「子ども・若者の自立支援巡回相談会」のお知らせ

日 時 : 令和5年11月17日(金) 13:00~17:00 予定

令和5年11月18日(土) 9:30~12:10 予定

会 場 : 屋久島町役場本庁舎相談室

主 催 : 鹿児島県・鹿児島県青少年育成県民会議

※申込については、かごしま子ども・若者総合相談センターにお問い合わせください

要予約

相談費:無料



かごしま子ども・若者総合相談センター
(ひきこもり地域支援センター)

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番8号 県青少年会館2階
TEL 099-257-8230 FAX 099-257-8231

かごしま子ども・若者総合相談センター

詳しくはHPをご覧ください

検索